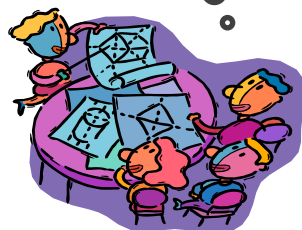


# アンソレーナさんと “スラム改善”を語ろう！



毎年、世界中のスラムを訪ねるアンソレーナさん、2013年の旅で、貧困者によるスラム改善活動が、各地で進展し続けているのを目のあたりにしました。特にアフリカでは、自治体がスラム改善のために、スラム組織に協力を依頼するケースが増えていきます。アジアでは、いくつかの大学が若い建築家ネットワーク（CAN）を通じて、スラムの改善プロジェクトに関わり始めました。皆さん、振るってご参加ください！



<b>4月21日 (月)</b>	<b>マレーシア</b>
<p>* ジョージタウンには古い店舗ハウスがアジアで一番多く残っており、旧市街は世界遺産に登録されている。しかし近年、店舗ハウスの賃貸料が上昇し、貧困者は撤去の危機に直面。ACHR と政府機関の協力による支援プロジェクト。 ACHR: Asian Coalition for Housing Right</p>	
<b>5月19日 (月)</b>	<b>タイ</b>
<p>* 古都チェンマイの若い建築家グループ（KJB）の活動：歴史的建造物の保存や、古くからある貧しい地域の生き残るための環境改善。参加型プロジェクトを通じて貧困者コミュニティは成長し、都市開発に参加できることを示している。KJB と貧困者組織の協力。</p>	
<b>6月16日 (月)</b>	<b>カンボジア</b>
<p>* カンボジア貧困者連盟（CDF）の発展。 貧困者による住宅建設。低コストで質の良い家を作るため、テクニカルセンターは竹やソイルセメントを用いた技術を訓練する。 * 強制撤去に抵抗している人びと。</p>	
<b>7月 7日 (月)</b>	<b>南アフリカ</b>
<p>* ブドウ農場で働く労働者の報酬は代々ブドウ酒で支払われてきた。貧困の中に生まれてくる子どものほとんどはアルコール依存症の悪影響を受ける。貧困から抜け出すためのプログラム（The path out of poverty program: POP）の紹介。 * 暴力や犯罪からスラムの若者を守るためのスポーツクラブ。</p>	

## 講師 ホルヘ アンソレーナ

世界各地のスラムの貧困者を訪ねて交流し、居住環境改善と住民の自立を支援。SELAVIP（ラテンアメリカ アジア住居奉仕団）代表。1994 年マグサイサイ賞国際理解部門受賞。  
日本建築学会会員。イエズス会司祭



**時間** 18:30～20:00

**会場** 岐部ホール4階 404

**参加費** 無料・会場での寄付歓迎(申込不要)

**連絡先** ☎ 03-5215-1844

**主催** イエズス会社会司牧センター

